

イミダクロプリド (案)

1. 品目名：イミダクロプリド (Imidacloprid)

2. 用途：殺虫剤

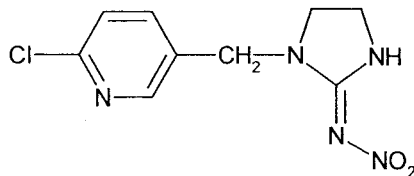
クロロニコチル系殺虫剤である。ニコチン性アセチルコリン受容体に結合し、神経伝達を遮断するなどの作用により殺虫効果を示すと考えられている。

3. 化学名：

1-(6-chloro-3-pyridylmethyl)-*N*-nitroimidazolidin-2-ylideneamine (IUPAC)

1-[(6-chloro-3-pyridinyl)methyl]-*N*-nitro-2-imidazolidinimine (CAS)

4. 構造式及び物性



分子式	$C_9H_{10}ClN_5O_2$
分子量	255.7
水溶解度	0.48 g/L (20.0°C)
分配係数	$\log_{10}P_{ow}=0.57$ (21°C)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用法は以下のとおり。

作物名、使用時期となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、申請者から、「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」（平成 16 年 2 月 5 日付け食安発第 0205001 号）に基づき、コーヒー豆に係る残留基準の設定が要請されている。

(1) 国内における使用方法

①2.0%イミダクロプリド箱粒剤

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネミズゾウムシ イネアザミウマ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌 5L)1箱 当り 50～80g	移植 2 日前 ～移植当日	1 回	育苗箱の上 から均一に 散布する	3 回以内 (育苗箱への 処理及び側条 施用は合計 1 回以内、本田 での散布は 2 回以内)
	イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 1箱当り 50g				

②1.0%イミダクロプリド粒剤

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
稲	—	ツマグロヨコバイ ウンカ類	3kg/10a	収穫 45 日前まで	2 回以内	散布	3 回以内 (種もみへの処理 は 1 回以内、育苗 箱への処理及び 側条施用は合計 1 回以内、本田で の散布は 2 回以内)
かんきつ (苗木)		ミカンハモグリガ	20g/樹 (6kg/10a)	育苗期	1 回	株元散布	—
れんこん		クワイクビレアブラムシ イネネクイハムシ	3kg/10a	植付時		植溝土壌混和	3 回以内 (植付時の土壌混 和は 1 回以内、植 付後は 2 回以内)
ばれいしょ		アブラムシ類	4kg/10a				1 回
さといも			3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	3 回以内 (は種時の土壌混 和は 1 回以内、散 布は 2 回以内)
豆類 (種実)							1～2g/株
さやいんげん							

②1.0%イミダクロプリド粒剤 (つづき)

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
未成熟そらめ	—	アブラムシ類	2g/植穴	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)
			3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	
2g/植穴			定植時	植穴土壌混和		3回以内 (定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	
3kg/10a			は種時	播溝土壌混和			
きゅうり		アブラムシ類	1g/株	育苗期後半		株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)
		アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時		植穴又は株元土壌混和	
		コナジラミ類	2g/株			植穴土壌混和	
すいか		アブラムシ類	5g/株 (3kg/10a) 1~5g/株 (3kg/10a)	定植時		株元土壌混和	4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
		ミナキイロアザミウマ	1~2g/株 (3kg/10a)			植穴土壌混和	
メロン		アブラムシ類	1g/株	育苗期後半		株元散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は合計3回以内)
		アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時		植穴又は株元土壌混和	
		コナジラミ類	2g/株			植穴土壌混和	
かぼちゃ		コナジラミ類 アザミウマ類		2g/株			定植時
にがうり		アブラムシ類	1~2g/株	定植時		植穴又は株元土壌混和	2回以内 (定植時の土壌混和は1回以内)
トマト ミニトマト	コナジラミ類	0.5~1g/株	育苗期後半	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は合計2回以内)		
	アブラムシ類 コナジラミ類	1~2g/株	定植時	植穴土壌混和			

②1.0%イミダクロプリド粒剤 (つづき)

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
ピーマン とうがらし類	—	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	1回	株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は合計2回以内)	
		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時		植穴又は株元土壌混和		
なす		アブラムシ類	1g/株	育苗期後半		株元散布	3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内)	
		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時		植穴又は株元土壌混和		
ねぎ わけぎ あさつき		ネギアザミウマ	4kg/10a			定植時	植溝土壌混和	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
はくさい		アブラムシ類	0.5g/株	は種時			植穴土壌混和	
だいこん			3~6kg/10a			は種時	播溝土壌混和	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、は種後2回以内)
非結球 あぶらな科 葉菜類								2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内)
なばな類								なばなは2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、なばな以外のなばな類は1回)
いちご		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	0.5g/株	育苗期後半		株元散布	1回	
パセリ				定植時		植穴土壌混和	2回以内 (定植時の土壌混和及び株元散布は合計1回以内、散布は1回以内)	
こんにゃく		アブラムシ類	3~6kg/10a	倍土時 (基根伸長期)		株元土壌混和	1回	
	6kg/10a		生育期 但し収穫21日前まで	茎葉散布				

②1.0%イミダクロプリド粒剤 (つづき)

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
さといも (葉柄)	—	アブラムシ類	4kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内)	
やまのいも		コガネムシ類					3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
やまのいも (むかご)		アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	1回	
まくわうり							コガネムシ類	4kg/10a
かんしょ		コガネムシ類	4kg/10a	植付時		作条土壌混和	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
じゅんさい		じゅんさい田	ユスリカ類	3kg/10a		収穫前日まで	散布	1回
にら		—	ネギアザミウマ	4kg/10a		収穫30日前まで	1回	株元散布
	定植時				植溝土壌混和			
キャベツ	—	アブラムシ類	0.5g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内 (育苗期の灌注及び定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
レタス				育苗期後半		株元散布	3回以内 (育苗時の株元混和は1回以内、散布は2回以内)	
ブロッコリー				定植時		植穴土壌混和	4回以内 (育苗期の灌注は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	

③10.0%イミダクロプリド水和剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数		
りんご	アブラムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	1000～ 2000倍	200～ 700L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内		
なし	アブラムシ類 カメムシ類	1000倍							
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍							
ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍		収穫14日前まで					
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1000～ 2000倍 1000倍		収穫21日前まで					
かき	チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類	1000～ 2000倍 1000倍		収穫7日前まで				3回以内	3回以内
うめ すもも	アブラムシ類	2000倍		収穫21日前まで				2回以内	2回以内
くり	クリイガアブラムシ	1000倍		収穫7日前まで				3回以内	3回以内
マンゴー	チャノキイロアザミウマ			収穫14日前まで					2回以内
稲	ツマグロヨコバイ ウンカ類	2000倍		60～150 L/10a				収穫7日前まで	2回以内
稲 (育苗箱)	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類	100倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 0.5L	移植2日前 ～移植当日	1回	育苗箱当り 希釈液0.5L を苗の上か ら灌注する	3回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は合 計1回以内、本田 での散布は2回以内)		

③10.0%イミダクロプリド水和剤 (つづき)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	アブラムシ類	1000～3000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内)
		16倍	3.2L/10a			無人ヘリコプターによる散布	
きゅうり	アブラムシ類 オンシツコナジラミ ミナキイロアザミウマ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)
すいか	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ			収穫3日前まで			4回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)
メロン	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)			4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は合計3回以内)			
にがうり	ミナキイロアザミウマ			2回以内 (定植時の土壌混和は1回以内)			
トマト	アブラムシ類 タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む) オンシツコナジラミ			3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)			
なす	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ オンシツコナジラミ			3回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内)			

③10.0%イミダクロプリド水和剤 (つづき)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ピーマン	ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類	2000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	3 回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布は2回以内)
てんさい	テンサイトビハムシ アブラムシ類	60 倍	ペーパーポット 1 冊当り 1L (3L/m ³)	定植時	1 回	苗床灌注	1 回
茶	チャノキイロアザミウマ	1000～ 2000 倍	200～ 400L/10a	摘採7日前まで		散布	
	チャノミドリヒメヨコバイ	1000 倍					
	チャノホソガ	2000 倍					

③10.0%イミダクロプリド水和剤 (つづき)

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
きゅうり	温室、 ガラス 室、ビ ニール ハウス 等密閉 できる 場所	アブラムシ類	100g /10a	5L /10a	収穫前日まで	3 回以内	常温煙霧	4 回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布及び常温煙霧 は合計3回以内)
なす						2 回以内		3 回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布及び常温煙霧 は合計2回以内)
ぶどう		チャノキイロアザミウマ	200g /10a	9L /10a	収穫21日前まで			2 回以内

③10.0%イミダクロプリド水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
湛水直播 水稻	ツマグロヨコバイ ウンカ類	種もみ3kg当り 150～200g	播種前	1回	過酸化カルシウム剤との同時湿粉衣（地上は種用、空中散播及び無人ヘリコプターによる散播用）	3回以内 （種もみへの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）
小麦	ヤギシロトビムシ	種子重量の 0.15%			種子粉衣	3回以内 （種子粉衣は1回以内、散布は2回以内）

④0.25%イミダクロプリド粉剤

作物名	適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
稲	—	ツマグロヨコバイ ウンカ類	3～4kg /10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内 （種もみへの処理は1回以内、育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布は2回以内）
		カメムシ類	4kg/10a				
		イネドロオイムシ	3kg/10a				
れんこん	—	アブラムシ類	—	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内 （植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内）
水田作物、畑作物（休耕田）	ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優先している休耕田	カメムシ類	4kg/10a	—	—	—	2回以内

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数				
とうもろこし	アブラムシ類	64 倍	3.2L/10a	収穫14日前まで	2回以内	無人ヘリコプターによる散布	3回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)				
オクラ	アブラムシ類 アザミウマ類	4000 倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3回以内		3回以内				
しそ	アブラムシ類			1回	1回		3回以内 (育苗時の株元散布は1回以内、散布は2回以内)				
レタス				2回以内	収穫7日前まで		2回以内	2回以内			
非結球レタス							2回以内	3回以内 (育苗期の灌水及び定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)			
キャベツ							2回以内	3回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)			
はくさい							2回以内	2回以内 (は種時の土壌混和は1回以内)			
みずな							2回以内	2回以内			
食用ぎく							アブラムシ類 アザミウマ類	2回以内	2回以内		
ふき							アブラムシ類 コナジラミ類	2回以内	2回以内		
畑わさび							アブラムシ類	3回以内	3回以内		
わさび								畑育苗期	3回以内		
びわ							アブラムシ類 カメムシ類	2000 倍	200~700 L/10a	収穫7日前まで	3回以内
なし						アブラムシ類	5000 倍	収穫3日前まで			
もも		アブラムシ類 モモハモグリガ	収穫3日前まで								
未成熟そらまめ	アブラムシ類	4000 倍	100~300 L/10a			収穫7日前まで	3回以内	3回以内 (定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)			
だいこん				収穫14日前まで	2回以内	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、は種後は2回以内)					

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル (つづき)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	アブラムシ類 ネギアザミウマ	4000 倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
非結球あぶらな科葉菜類 (みずなを除く)	アブラムシ類 コナジラミ類			収穫 14 日前まで			2 回以内 (は種時の土壌混和は 1 回以内)
ごぼう	アブラムシ類			収穫 7 日前まで			2 回以内
ねぎ	ネギアザミウマ	2000~ 4000 倍		収穫 14 日前まで	1 回		3 回以内 (定植時の土壌混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)
わけぎ				収穫 3 日前まで			1 回
あさつき		2000 倍		収穫 14 日前まで			2 回以内
モロヘイヤ	アブラムシ類	4000 倍		収穫 14 日前まで	2 回以内		2 回以内
葉ごぼう				収穫 7 日前まで			1 回
ふだんそう	アブラムシ類	4000 倍		収穫 3 日前まで	1 回		1 回
食用さくら(葉)	アザミウマ類	4000 倍		収穫 21 日前まで	3 回以内		3 回以内
くわい	アブラムシ類	4000 倍		収穫 7 日前まで	2 回以内		2 回以内
エンダイブ				収穫 7 日前まで	2 回以内		2 回以内
きゅうり	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	4000 倍		収穫前日まで	3 回以内		4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布及び常温煙霧は合計 3 回以内)
メロン	アブラムシ類	4000 倍		収穫 3 日前まで	1 回		4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)
せり科葉菜類 (ただし、コリアンダー(葉)、セルリー、パセリ、みつば及びせりを除く)				収穫 14 日前まで			1 回
れんこん			収穫 7 日前まで	2 回以内	3 回以内 (植付時の土壌混和は 1 回以内、植付後は 2 回以内)		
はまぼうふう(葉)				2 回以内	2 回以内		
メキャベツ							
非結球メキャベツ	2 回以内						

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル (つづき)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数		
かんきつ	ケシキスイ類 コアオハナムグリ	4000～ 5000 倍	200～700 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内		
	コナカイガラムシ類	2500 倍							
	アカマルカイガラムシ	2500～ 5000 倍							
	チャノキイロアザミウマ ミカンハモグリガ カメムシ類 アブラムシ類 ゴマダラカミキリ成虫	2000～ 5000 倍							
	ミカンキジラミ	2000 倍							
	ゴマダラカミキリ成虫	40 倍	5L/10a						
	アブラムシ類	20 倍							
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	5000 倍	200～700 L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内		
あんず	アブラムシ類			収穫7日前まで					
キウイフルーツ	カメムシ類			2000 倍				収穫前日まで	
さんしょう (葉)	アブラムシ類	4000 倍	100～300 L/10a	株養成期 但し、収穫180日前まで	3回以内	散布	3回以内		
パセリ				収穫14日前まで				1回	2回以内 (定植時の土壌混 和及び株元散布は 合計1回以内、散布 は1回以内)
ピタヤ				2000 倍				収穫7日前まで	
アセロラ しそ(花穂)		4000 倍		収穫3日前まで	3回以内		3回以内		
コリアンダー (葉)				収穫7日前まで					
セルリー				収穫14日前まで	2回以内		2回以内		
食用プリムラ きく(葉)				根株養成期 但し、収穫60日前まで				3回以内	3回以内
うど		2000 倍							

⑤20.0%イミダクロプリドフロアブル（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
ブロッコリー	アブラムシ類	2000倍	100～300 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗期の灌注は1回以内、 定植時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)	
かぼちゃ		4000倍		収穫前日まで			3回以内	3回以内
ズッキーニ				収穫3日前まで	2回以内			2回以内
ヤングコーン				収穫前日まで				
いちょう (種子)	イチョウヒゲビロウドカミキリ 成虫			収穫前日まで			2回以内	

⑥20.0%イミダクロプリド水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
わさび	アブラムシ類	4000倍	100～200 L/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	3回以内

⑦2%イミダクロプリド・4%フルベンジアミドフロアブル

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	フルベンジアミドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 コカ アオムシ カブラヤカ ハモンヨトウ	100倍	セル型 育苗トレイ 1箱又は ペーパーポット 1冊 (30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) あたり 0.5～1L	定植 3日前 ～ 定植時	1回	灌注	3回以内 (育苗期の灌注 及び定植時の 土壌混和は 合計1回以内、 散布は2回以内)	4回以内 (灌注は1回以内、 散布は3回以内)
ブロッコリー	アブラムシ類 コカ						4回以内 (育苗期後半の 灌注は1回以内、 定植時の土壌 混和は1回以内、 散布は2回以内)	3回以内 (灌注は1回以内、 散布は2回以内)

⑧70.0%イミダクロプリド粉末

作物名	作物名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
てんさい	テンサイトビハムシ	90~130g /ユニット*	は種前	1回	種子被覆剤に 混和後、種子に コーティングする	1回
	テンサイハモグリハナバエ	130g /ユニット*				

*: 1ユニット (約 100,000 粒) /ha

⑨70.0%イミダクロプリド粉末

作物名	作物名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
とうもろこし	アブラムシ類	9~14g/10a	は種前	1回	種子処理機による 種子粉衣	3回以内 (種子粉衣は 1回以内、 は種後は 2回以内)

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
稲 (育苗箱)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	500倍	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 0.5L	移植2日前 ~移植当日	1回	育苗箱当り 希釈液0.5L を苗の上から 灌注する	3回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は 合計1回以内、 本田での散布は 2回以内)
	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	500~ 1000倍					
かんきつ	アブラムシ類 チャノキイロアザミウマ ミカンハモグリガ ケシキスイ類 ゴマダラカミキリ成虫 コアオハナムグリ コナカイガラムシ類 アカマルカイガラムシ コナジラミ類	10000倍	200~700 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	ミカンキジラミ アザミウマ類	5000倍					
	カメムシ類	5000~ 10000倍					
げっきつ	ミカンキジラミ	5000倍		発生初期	4回以内		4回以内

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤（つづき）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
りんご	カメムシ類 リンゴワタムシ	5000倍	200～700 L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
	アブラムシ類	10000～ 15000倍					
	キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	10000倍					
うめ すもも	アブラムシ類			収穫21日前まで			
なし	コナカイガラムシ類	5000倍		収穫3日前まで			
	アブラムシ類 カメムシ類	5000～ 10000倍					
もも	アブラムシ類	10000倍		収穫3日前まで			
	モモハモグリガ カメムシ類						
ネクタリン	アブラムシ類	5000～ 10000倍		収穫14日前まで			
	モモハモグリガ カメムシ類	10000倍					
ぶどう	コナカイガラムシ類	5000倍	収穫21日前まで				
	フタテンヒメヨコバイ	10000倍					
	チャノキイロアザミウマ	5000～ 10000倍					
かき	コナカイガラムシ類	5000倍	収穫7日前まで	3回以内			
	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ	10000倍					
	カメムシ類	5000～ 10000倍					
マンゴー パッションフルーツ	アザミウマ類	10000倍	収穫14日前まで	2回以内			
			収穫7日前まで				
なす	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布及び常温煙霧 は合計2回以内)	
ピーマン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	5000～ 10000倍					

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤 (つづき)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数		
トマト	アブラムシ類	10000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)		
	コナジラミ類	5000～10000 倍							
ミニトマト	アブラムシ類	10000 倍							
	コナジラミ類	10000 倍							
きゅうり	アブラムシ類	5000～10000 倍							
	コナジラミ類	5000～							
	ミナミキイロアザミウマ	10000 倍							
すいか	アブラムシ類	10000 倍			収穫3日前まで		3 回以内	4 回以内 (定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)	
	ミナミキイロアザミウマ	5000～10000 倍							
メロン	コナジラミ類	10000 倍			収穫7日前まで			3 回以内	4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ類	5000～10000 倍							
うり類 (漬物用)	アブラムシ類 コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	10000 倍			収穫7日前まで			3 回以内	
ズッキーニ	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類				収穫前日まで				
にがうり	ミナミキイロアザミウマ				収穫前日まで				
なばな			収穫7日前まで						
とうもろこし	アブラムシ類	10000～15000 倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	2 回以内	無人ヘリコプターによる散布	3 回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)		
		160 倍	3.2L/10a						
		80 倍	1.6/10a						
ばれいしょ	アブラムシ類	2500 倍	25L/10a		3 回以内 (植付時の土壌混和は1回以内、植付後は2回以内)				
		5000～15000 倍	100～300 L/10a						
	オオニジュウヤホシテントウ	15000 倍	3.2L/10a			無人ヘリコプターによる散布			
	アブラムシ類	160 倍							
	アブラムシ類	80 倍	1.6/10a						

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤 (つづき)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
豆類 (種実)	アブラムシ類	10000倍	80～300 L/10a	収穫30日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和 は1回以内、散布は 2回以内)
とうがらし類	アザミウマ類 ミナミキイロアザミウマ	5000～ 10000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで			3回以内 (育苗期の株元散布 及び定植時の土壌 混和は合計1回以内、 散布は2回以内)
てんさい	アブラムシ類 カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ	300倍	ペーパーポット 1冊あたり1L (3L/m ²)	定植時	1回	苗床灌注	1回
	テンサイトビハムシ	300～ 500倍					
みょうが (花穂)	カイガラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布、但し 花穂の発生 期にはマル チフィルム 被覆により 散布液が 直接花穂に 飛散しない 状態で使用する	2回以内
みょうが (茎葉)				みょうが(花穂) の収穫前日 まで 但し、花穂を 収穫しない 場合にあ っては 開花期終了 まで			
すいぜんじな	アブラムシ類	10000倍	100～300 L/10a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付時の 土壌混和は 1回以内、 植付後は 2回以内)
さといも (葉柄)				収穫前日 まで			
かんしょ				収穫7日 前まで			
にんじん				収穫3日 前まで			

⑩50.0%イミダクロプリド顆粒水和剤 (つづき)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
さやいんげん さやえんどう 実えんどう	アブラムシ類	10000 倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	2 回以内	散布	3 回以内 (定植時及び は種時の土壌混和は 合計 1 回以内、 散布は 2 回以内)
豆類 (未成熟、 ただし、 さやいんげん、 さやえんどう、 実えんどう 及び未成熟 そらまめを 除く)				収穫 14 日前まで			
未成熟そらまめ							
やまのいも							
はくさい							
キャベツ				収穫 7 日前まで			
レタス							
ほうれんそう				収穫前日まで			
ねぎ	ネギアザミウマ	5000 倍		収穫 14 日前まで			3 回以内 (定植時の土壌混和 は 1 回以内、散布は 2 回以内)
たまねぎ		5000~ 10000 倍					2 回以内
みつば	アブラムシ類	10000 倍		収穫 7 日前まで ただし、伏せ込み栽 培は伏せ込み前まで			2 回以内